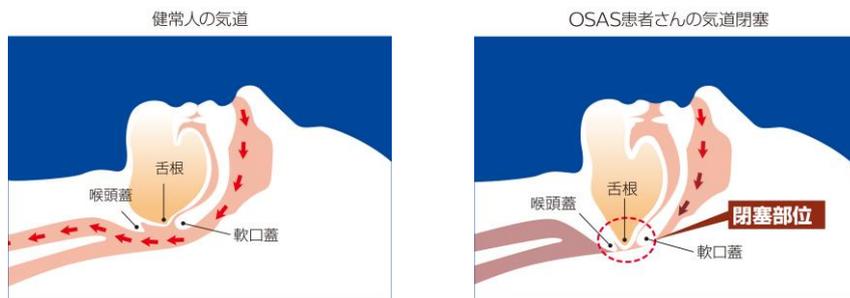


成人の睡眠時無呼吸症候群とは

睡眠時無呼吸症候群の病態の多くは、気道の閉塞などが原因で、睡眠中に何回も呼吸が止まる、または浅く・弱くなるによって起こる閉塞性睡眠時無呼吸症候群です。
2003年の山陽新幹線運転手の事故で注目が集まるようになりました。

- 眠っている時に呼吸がとまっている
 - いびきがうるさい
 - しっかり寝ているのに日中の強い眠気、疲れを感じる
 - 夜中に何度もトイレに行く
- その症状は閉塞性睡眠時無呼吸症候群かも。



閉塞性睡眠時無呼吸症候群を未治療で放置した場合

閉塞性睡眠時無呼吸症候群になると体は睡眠中に酸欠状態になり、心臓や血管に負担がかかります。
この状態が長く続くと、合併症を引き起こす可能性が増加することが報告されています。



閉塞性無呼吸症候群による眠気のために、交通事故を起こす危険性が高くなります。

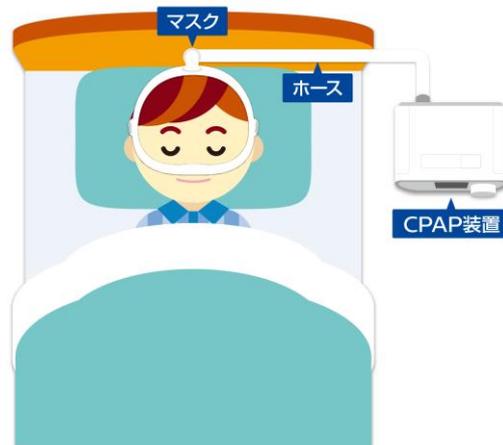


CPAP 装置による治療

CPAP 療法(中等症～重症の方に用いる治療法)

CPAP 装置から呼吸回路・マスクを介して、処方された空気を気道へ送り、常に圧力をかけて空気の通り道を塞がないようにし、睡眠時無呼吸症候群を予防する治療法です。

対症療法であり根本的な治療にはなりません。現在もっとも有効な治療法と言われています。CPAP 療法は検査を行い、一定の基準を満たせば健康保険の適用になります。



治療を行うメリット

- 閉塞性睡眠時無呼吸症候群の症状の改善
- 生活習慣病の改善、予防
- 眠気症状が改善されることによる事故の防止などがあげられます。

その他の治療法

- ・口腔内装置による治療
- ・手術による治療
- ・生活習慣の改善